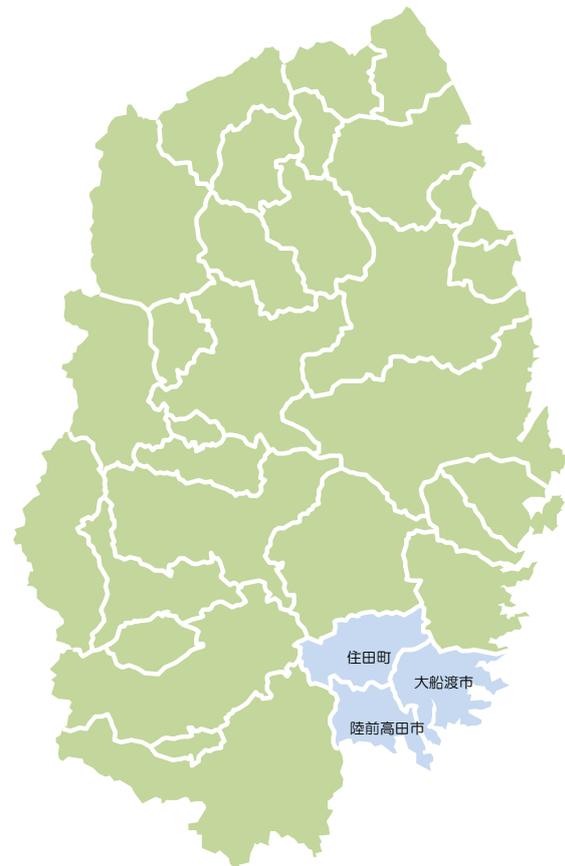


県土整備部の職場紹介 No.9 沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

地域概要

大船渡土木センターの所管区域は、大船渡市、陸前高田市及び住田町の2市1町で、岩手県沿岸部の最南端に位置しています。

東日本大震災津波により被災した公共土木施設の迅速な復旧・復興、管内の社会資本の良好な維持管理に務めるとともに、地域住民との協働や管内市町との連携により、「暮らしの再建」や「なりわいの再生」に向けた「防災のまちづくり」を強く推進しています。



組織体制

○平成28年度組織キャッチフレーズ

気仙の復興の日まで 心ひとつに がんばら・ネバー・give up

○組織の特徴

当センターの組織は、所長、副所長以下6課及び1担当で構成され、職員数は、**正職員49名**、**全国から派遣された職員21名**（大阪府15名、福岡県2名、高知県2名、新潟県1名、山口県1名）、**任期付職員9名**の**総勢79名**の体制となっています。

今年度の主な取組

1. 主要地方道大船渡広田陸前高田線 花貝地区 開通

『まちづくり連携道路』として整備を進めていた、主要地方道 大船渡広田陸前高田線の花貝地区 地域連携道路整備事業が完成。9月29日（木）に開通式を行い、同日15時から供用を開始しました。津波浸水区域を避けた位置に道路を計画するとともに、陸前高田市の復興まちづくり（高台移転等）と調整を図り整備を進めてきたものです。



開通式（9/29）の様子

